

米價を維持させねばならぬ。
 我皇道會は國民大衆の爲止義の下に合法的運動をするものである。在郷軍人の進歩的な方々と農民、中小商工業者共々皇道精神により邁進して議會の能力を充分發揮する様指導せねばならぬ國民大衆が一つの問題に奮起する事だ、五、一五事件の三上中尉の歌に「運命と戦慄を兼せて行く舟の帆に風無きを悲しむ」とあるが五、一五事件に對する背後の國民の力かなかつた事を悲しむのである。吾々は國家の礎石となる精神の下に、各々の立場に在りて皇道政治確立の爲立ち上れ。

皇道會副總裁 海軍中將 山下瀧八郎

國內情勢は總べてに逼迫して何んとなく社會が不安であるこの社會不安が惡思想共產主義者をして少数乍らも國家改

造せんとする隙を與へて居る双葉の内に對取らねばならぬ現在の國內非常時を瀕らした根本は教育の缺陷にあり、歐洲文明の直輸入であり、何等精神教育がなかつた、外國を過信した結果は軟弱外交となり遂に今日の外患を齎した、アメリカの世界的に頽廢した人道が次第に我國にも及びて居る事を恐るる、黄金萬能主義が政黨政治を墮落させ社會を不純にした、維新當時自由黨、民権黨も遂に現在の弊に陥ちた、議會を淨化するには議員を淨化する事であつて國家の爲に國民が自覺の眞の代議士を選らばねばならぬ。徒らに其の行爲を難するのではない、今後の覺醒を促がす事が皇道會の目的である。貧富の差を緩和し、人材技能に依り自由に財を得せしめ、富の公平なる分配と共に税の公平なる負擔、即ち間接税を廢し直接税とする社會とせねばな